

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 070	提案機関名 川崎市農業振興センター
要望問題名 菅ののらぼう菜の品質評価について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 「菅ののらぼう菜」は保存会の会長によれば、820年前に北条氏が稲毛荘に持ち込んだといわれる伝統作物であり、抽苔が早く2月中に可食部のトウを収穫可能で茎・葉の糖度が高く、あくが少ない食味で軟らかい食材としてすぐれた特徴がある。 埼玉県比企郡ときがわ町（旧都幾川村）を中心に栽培され、埼玉県が地域を代表する特産物化を目指しており、埼玉県農林総合研究センターが栄養素分析を行い優れた栄養価を売り物にしている。 本市の「菅ののらぼう菜」をアピールするため、系統別の品質評価を希望したい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術所 <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考 14系統のうち、極早生・早生・中生・晩生の4系統の分析と全系統の糖質分析を希望。検体収集・搬入は市で対応可能。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	品質機能研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 県産農産物の品質特性の解明		
対応の内容等	のらぼう菜の品質評価については、当所で系統解析を実施した時に行っています。そのデータを提供します。また、生産現場ののらぼう菜については、評価しておりませんので、品質評価を実施します。試料の提供等ご協力をお願いします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			